

## 第23回 Working Party 5A会合 報告書(案)

### 1 WP 5A

WP 5AはIMTを除く陸上移動業務、一部の固定業務(FWA:Fixed Wireless Access)、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

#### 1.1 会合の概要

WP 5A第23回会合は、2020年7月20日から7月30日までの9日間(土曜・日曜は会議なし)、Web会議にて開催された。議長はJose Costa(カナダ)が担当し、表1のとおりWorking Partyのもとに5つのWG(Working Group)を設置し、検討が行われた。

表1 WP 5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP 5A		Jose Costa (カナダ)
WG 1	Amateur services	Dale Hughes (オーストラリア)
WG 2	Systems and standards	Lang Baozhen (中国)
SWG 5A-2-1	Railways	Bo Jiang (中国)
WG 3	PPDR	Amy Sanders (米国)
WG 4	Interference and sharing	Michael Kraemmer (ドイツ)
WG 5	New technologies	吉野 仁 (日本)
e-SWG 5A5-1	CAV	小山 敏 (日本)
e-DG5A-2	Handbook	Hyun-Seo Oh (韓国)
e-DG5A-3	reply liaison statements to ITU-T FG VM and WP 5D	吉野 仁 (日本)
e-DG5A-4	a reply liaison statemen to SCV (Vocabulary)	吉野 仁 (日本)
e-DG5A-5	Above 275 GHz (Q.256/5, Res. 731)	—

## 2 主要結果

### 2.1 WG 1(アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する作業計画を作成した。WP 5A ではアマチュア局の特性を、WP 4C では干渉を、それぞれ検討することを確認した。アマチュア局の特性については、新報告案を作成することとし、ITU-R 勧告 M.1732-2 に加えて必要な情報のリストを WG 1 議長報告に添付した。また、日本の入力文書(Doc.61)で提案した作業文書は、上記新報告案の素材として WP 5A 議長報告に ANNEX として添付された。
- (2) WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する WP 4C からのリエゾンに対する返信リエゾンを作成した。
- (3) 小型衛星のハンドブック作成に関する WP 4A からのリエゾンに対する返信リエゾンを作成した。

### 2.2 WG 2(システムと標準)

- (1) RSTT に関して 3 つの文書が審議され、新研究課題草案 ITU-R[RSTT]、周波数調和に関する新勧告草案 ITU-R M.[RSTT\_FRQ]、ITU-R 報告 M.2442 の改訂草案のいずれの作業文書も、次回継続審議となった。WP6A への返信リエゾン文書については、今回返信しないこととした。
- (2) Question 101-5/5 に関する ITU-T SG 2 からのリエゾン文書については、ITU-T からの提案を受け入れ、脚注から ITU-T SG 12 に注意喚起すべきという文を削除する WP 5A 議長が提案した案で送付することが承認された。
- (3) 新報告草案 utility communications systems に関して、次回継続審議とするとともに、ITU-D に対する返答リエゾン文書の送付が承認された。
- (4) 勧告 ITU-R M.1450 と勧告 ITU-R M.1801 の改訂に伴う外部組織へのリエゾン文書案については、次回継続審議となった。

### 2.3 WG 3(PPDR)

- (1) ITU-R 報告 M.2377 について、今回会合にも入力文書がなく、審議せずに次回会合にキャリアフォワードされた。
- (2) ITU-D SG 2 からのリエゾン文書について、リエゾンバックを作成した。
- (2) ITU-T SG 11 からのリエゾン文書について、リエゾンバックを作成した。

### 2.4 WG 4(干渉と共用)

- (1) ITU-R 暫定新報告案 M.[100GHZ.RSTT.EESS.COEXIST]について、検討を続け、WP 5A が責任グループである WRC-23 議題 1.3 の準備作業を開始し、貢献グループへの 2 つのリエゾンと作業計画と CPM テキストの初期ドラフトを作成した。
- (2) WRC-23 の各議題を検討する準備をするに当たり、関連する各 WP に対するリエゾンが作成された。

### 2.5 WG 5(新技術)

- (1) CAV に関する研究課題 Q. 261/5 の作業を開始し、ITU-R 暫定新報告 M.[CAV]に向けた作業文書を作成した。
- (2) 陸上移動ハンドブック第 4 巻 ITS(Land Mobile Handbook, Vol.4 – Intelligent Transport Systems)の改訂に向けた作業文書の作成を継続し、作業文書から暫定改訂案へと格上げされた。
- (3) 275-450 GHz 帯における陸上移動業務アプリケーションの技術的及び運用特性に関する

る ITU-R 暫定改訂案 M.2417-0 に向けた作業文書の作成を継続した。

### 3 プレナリ会合における主要議論

#### 3.1 オープニングプレナリ会合

##### 【入力文書】

Report of the twenty-first meeting of Working Party 5A (WP 5A)	5A/1065
Reports on related ITU and external activities of interest to WP 5A	1 Results of the Study Group 5 meeting (Doc. 5A/12) 2 Results of WRC-19 (Final Acts WRC-19, WRC-19 Decisions – CR/456) 3 Results of CPM23-1 (CA/251, Doc. 5A/4) 4 Vocabulary: CCV, SCV, and CCT activities (Doc. CCV/2) 5 27th meeting of the RAG, 25-27 May 2020 (CA/252) 6 Results of the 16th CVC meeting, 4 July 2020 (Doc. CVC-16/2, Doc. 5A/39)
Work programme for the meeting	5A/ADM/1、5A/ADM/2

##### 【出力文書】

なし	
----	--

##### 【出席者】

José COSTA 議長(カナダ)、日本代表団始め各国代表団約 300 名程度

##### 【審議概要】

1. 開会の挨拶(Doc. 5A/INF/1)
2. アジェンダの承認  
イランより、複数の寄書文書は、各WPで共有の議題となるものがあるため、各WP 合同セッションを設けることを提案した。フランス、UAE等もこれを支持する旨を示した。
3. WP 5A 第 22 回会合の議長報告 (Doc. 5A/1065)  
特段の議論はなく、承認された。
4. WP 5A 第 23 回会合の目的 (Section 4 of Doc. 5A/1065)  
特段の議論はなく、承認された。
5. WP 5A の構成及びコンタクトリスト(Sections 2.2 and 4 in Doc. 5A/45)  
特段の議論はなく、承認された。
6. WP 5A に関連した ITU 及びその他活動の報告  
以下の文書が参考として紹介された。
  - 6.1 Results of the Study Group 5 meeting (Doc. 5A/12)
  - 6.2 Results of WRC-19 (Final Acts WRC-19, WRC-19 Decisions – CR/456)
  - 6.3 Results of CPM23-1 (CA/251, Doc. 5A/4)
  - 6.4 Vocabulary: CCV, SCV, and CCT activities (Doc. CCV/2)
  - 6.5 27th meeting of the RAG, 25-27 May 2020 (CA/252)
  - 6.6 Results of the 16th CVC meeting, 4 July 2020 (Doc. CVC-16/2, Doc. 5A/39)
7. WP 5A テキストの修正 (Section 1 of Annex 1 to Doc. 5A/1065, Doc. 5A/45)

WP 5A マネジメント等、WP 5A 関連の文書が修正されている旨及びコメント等があれば別途連絡がほしい旨を議長がアナウンスした。

8. 本会議のプログラム(Doc. 5A/ADM/1、Doc. 5A/ADM/2)  
寄与文書の割当て(Doc. 5A/ADM/1)が承認された。  
本会合スケジュール(Doc. 5A/ADM/2)に関して、イランは、各 WP の会合が重ならないように配慮してほしい旨要望した。また、イスラエルは、24 日に 5A のプレナリを実施するようにリクエストした。議長は、事務局にて対応する旨回答した。
9. 入力文書(Doc. 5A/1091, Doc. 5A/38, Annex to Doc. CVC-16/2)  
以下 3 つの文書が紹介された。
  - ・Doc.5A/1091:ITU-T SG 20 からのターミノロジーに関するリエゾン
  - ・Doc.5A/38:WRC-23 議題に関する議論の進め方のガイドライン
  - ・Annex to Doc.CVC-16/2:CVC 会合で共有された WRC-23 議題に関する原則
10. Administrative matters(Annex 1 to Doc. 5A/1065, updated in Doc. 5A/45)  
以下 3 つの文書が紹介された。
  - ・10.1 Structure for the draft CPM Report to WRC-23 (Section 3 in Doc. 5A/45)
  - ・10.2 Format of ITU-R Recommendations (Section 2.3 in Doc. 5A/45)
  - ・10.3 ITU English Style Guide (Section 2.3 in Doc. 5A/45)
  - ・10.4 Vocabulary (Doc. 5A/75)
11. リエゾン・ラポータからの報告文書(Doc. 5A/76, Doc. 5A/81)  
以下の 2 つの文書が紹介された。
  - Doc.5A/76:アマチュア無線等に関する CITEL の活動報告
  - Doc.5A/81:ITU の各セクションにおける災害通信における活動報告
12. その他  
WRC-23 議題に関する議論をどのように進めるかについて、イランは、時間の制約があるために文書作成等において十分な準備の上で会合に臨むことが必要である旨コメントした。

散会

### 3.2 クロージング・プレナリ会合

#### 【入力文書】

なし	
----	--

#### 【出力文書】(5A/TEMP/...)

WG 1	1.Reports 37 2.Documents noted(for Chairman' s Report) 9R1, 10R1, 11 3.Proposals to SG 5 - 4.Draft documents for approval 3, 8R1
WG 2	1.Reports - 2.Documents noted(for Chairman' s Report) 24R1 3.Proposals to SG 5

	<p>–</p> <p>4. Draft documents for approval 12R1, 17, 18, 43</p>
WG 3	<p>1. Reports 39</p> <p>2. Documents noted (for Chairman's Report) –</p> <p>3. Proposals to SG 5 –</p> <p>4. Draft documents for approval 1, 2</p>
WG 4	<p>1. Reports –</p> <p>2. Documents noted (for Chairman's Report) 7, 15, 46</p> <p>3. Proposals to SG 5 –</p> <p>4. Draft documents for approval 4, 5R1, 6R1, 13, 14R1, 16R1, 38, 45, 47</p>
WG 5	<p>1. Reports 27, 33</p> <p>2. Documents noted (for Chairman's Report) 26, 34R1</p> <p>3. Proposals to SG 5 –</p> <p>4. Draft documents for approval 29, 35, 36R1, 40, 44R1</p>

**【出席者】**

議長： José COSTA (カナダ) 日本代表団始め各国代表団 約 300 名

**【審議概要】**

1. アジェンダの承認 (5A/ADM/6)  
特段の議論はなく、承認された。

2. 出力文書の審議 (5A/TEMP/...)  
(1) WG 1

- ・TEMP 文書 3: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 8R1: イランからのエディトリアルな修正の提案を受けドラフティングを実施し、当文書は承認された。

(2) WG 2

- ・TEMP 文書 24R1: エディトリアルな修正が実施され、承認された。
- ・TEMP 文書 12R1: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 43: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 17, 18:  
WG 2 におけるこれまでの会合にて対応の方向性について合意に達することができず、当会合にて議論の続きを実施した。今までの WG 2 の会合と同じく、

周波数帯域の拡張によって生じうる問題に懸念を示し、当初の IEEE の寄与文書 43,44 をそのままキャリアフォワードすべきとする中国、ロシア、イランの見解と、その懸念について Editor's note に明記したうえで、オフラインディスカッションでの議論の成果を反映した 17、18 をキャリアフォワードすべきとの米、英、独、5A 議長の見解が対立する形となった。最終的に、議論の時間が取れないことから、5A 議長より両文書を承認せず 11 月の次回会合にて改めて議論する方針が示され、各国承諾した。

(3)WG 3

- ・TEMP 文書 1: 一部エディトリアルな修正が実施され、承認された。
- ・TEMP 文書 2: 特段の意見はなく承認された。

(4)WG 4

- ・TEMP 文書 4: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 5: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 6:  
WP 5D を宛先に入れるべきか、対象となるケースの限定をすべきか、ステータスをどうするか、といった所を論点として議論が行われた。結果として、WP 5D を宛先に入れ対象を限定する追記はせず、ステータスは必要に応じて対応する旨に修正され、承認された。
- ・TEMP 文書 13: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 14: 一部エディトリアルな修正が実施され、承認された。
- ・TEMP 文書 16: ステータスを情報提供からアクションに修正のうえ承認された。
- ・TEMP 文書 38: アジェンダから削除された
- ・TEMP 文書 45: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 47: アジェンダから削除された

(5)WG 5

- ・TEMP 文書 29: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 35:  
宛先に WP 5C を追記すべきとの意見が出たが、追記せず承認された。
- ・TEMP 文書 36: 特段の意見はなく承認された。
- ・TEMP 文書 40: 一部ブランクになっていた部分を追記し承認された。
- ・TEMP 文書 44: タイトルの文言を一部修正し承認された。

4. WP 5A Management (Doc. 5A/TEMP/41)

特段の議論は行われなかった。

5. List of Annexes for the Chairman's Report

WG 4 の議長より TEMP48,50,51 を追記するよう意見があり採用された。また、コスタ議長より、キャリアフォワードされた文書は annex3 の最初のページにまとめられていることや、議長報告に意見がある場合は 11 月の次回会合にて議長報告への反対意見として提出するよう言及があった。

6. 次回会合の予定

9-20 November 2020 (WP 5A)

23-24 November 2020 (SG 5)

7. Other business

本会合期間中の WEB 会議の進め方や開催時間等について、複数の WG を平行して行うと会合への参加へ支障をきたすことがあるので、シーケンシャルに実施することを求める意見があった。

8. Closing

議長より WG 議長他への謝意をもって散会が宣言された。

以上

## 4 各WG等における審議内容

### 4.1 WG 1(アマチュア及びアマチュア衛星業務)

#### 【入力文書】

WRC-23 AI 9.1 b Res. 774	24 § 3.13 (WMO); 26 (WP 4C); 55 (IARU); 61 (Japan)
アマチュア衛星	1087 (WP 4A)
アマチュア業務の保護	Wireless power transmission: 1075 (WP1B); 1082 (SG1); 1083 (WP1A); 1084 (WP1A)
他の業務の保護	1068R2 (WPs 3J, 3K, 3L & 3M)

#### 【出力文書】

WRC-23 AI 9.1 b Res. 774	5A/TEMP/8R1 (LS) 5A/TEMP/9R1, 10R1, 11 (Carry forward)
アマチュア衛星	5A/TEMP/3(LS)
アマチュア業務の保護	なし
他の業務の保護	なし

#### 【出席者】

議長: Mr. Dale Hughes (オーストラリア)、日本含む各国代表団

#### 【審議概要】

- ・ WRC-23 議題9.1 トピックb)に関する文書4件、アマチュア衛星に関する文書1件、WPTIに関する文書4件そして建物への進入損失に関する文書1件の合計10件の入力文書を審議し、WRC-23 議題9.1 トピックb)に関するcarry forward文書3件と返信リエゾン1件及びアマチュア衛星に関する返信リエゾン1件を出力した。
- ・ WPT及び建物の進入損失に関するリエゾン文書をノートした。

#### 4.1.1 WRC-23 議題 9.1 トピック b)の検討

#### 【入力文書】

24 § 3.13 (WMO); 26 (WP 4C); 55 (IARU); 61 (Japan)

#### 【出力文書】

5A/TEMP/8R1 (LS)

5A/TEMP/9R1, 10R1, 11 (Carry forward)

#### 【審議概要】

- ・ WMOの見解を表明したDoc. 24をノートした。

- ・ WP 4C からの検討状況の連絡と WP 5A への情報提供依頼のリエゾン文書 Doc. 26 に対して、ITU-R 勧告 M.1732-2 の情報では本件の検討には不十分であり、WP 4C での検討に必要なアマチュア及びアマチュア衛星業務の局の特性情報をリストし次回会合への入力を要請した旨を伝える返信リエゾンを作成した。
- ・ IARU の入力文書 Doc. 55 で提案された作業計画案を審議し、今回及び次回会合での作業について修正を加えて合意し、作業計画案を carry forward した。また、WP 5A と WP 4C の本件に関する作業分担について、WP 5A は「アマチュア及びアマチュア衛星業務のシステム及びアプリケーションの検討」を行い、WP 4C は「アマチュア及びアマチュア衛星業務から RNSS を保護する技術・運用上の手法」の検討を行う。その結果を受けて、WP 5A が責任グループとして CPM テキスト案を作成することを確認した。ただし、技術・運用上の手法の検討の詳細については議論があり、WP 4C における検討結果をそのまま CPM テキスト案に使用するべきというフランスと、WP 4C と WP 5A で協力して検討がなされるべきという米国とドイツ(特に、ドイツは、WP 4C はアマチュア業務の詳細の知見がないため、全体の中の一部のケースのアマチュア局技術特性を問題にして全アマチュア局に制約を課すべきでないとの意見)との間での意見の対立が残り、今後詳細議論を継続することとなった。
- ・ アマチュア及びアマチュア衛星業務のシステム及びアプリケーションの特性について必要な項目を審議し、勧告 M.[1732-2]の情報は不十分であるがその改訂には時間がかかるため、新報告案として M.[AMATEUR CHARACTERISTICS]を作成することとし、追加で必要な情報のリストを作成し WG 1 議長報告に添付した。追加で必要な情報については、主管庁からの入力のみ扱うべきとの意見がイランから出たが、「主管庁は通告されるパラメータについての責任を有するという観点ではイランの意見どおりであるが、この共用検討については IARU 等のセクターメンバーからの寄与も有効」との意見も出たため、セクターメンバーからの情報提供も含めて検討されることとなった。
- ・ 日本が入力文書 Doc. 61 で提案した作業文書は、その Attachment が今後作成する暫定新報告案 M.[AMATEUR CHARACTERISTICS]に向けた作業文書の素材としてキャリアフォワードされた。
- ・ 暫定 CPM テキスト案に向けた作業文書として、タイトルと議題の概要のみを記載した骨子案を作成し、キャリアフォワードした。

#### 4.1.2 アマチュア衛星に関する WP 4A への返信リエゾンに関する検討

##### 【入力文書】

1087 (WP 4A)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/3

##### 【審議概要】

- ・ WP 4A からの小型衛星ハンドブックの作成に関するリエゾン文書 Doc. 1087 に対して、アマチュア衛星に関する記述がアマチュア及びアマチュア衛星のハンドブック第3章にあること、またアマチュア衛星の周波数調整に関する情報は IARU のウェブサイトにある旨を連絡する返信リエゾン文書を作成した。

#### 4.1.3 アマチュア業務の保護に関するリエゾン文書の検討

##### 【入力文書】

Wireless power transmission:

1075 (WP 1B); 1082 (SG 1); 1083 (WP 1A); 1084 (WP 1A)

【出力文書】

【審議概要】

- ・ WPT(無線電力伝送)についての情報連絡であり、ノートした。

#### 4.1.4 他の業務の保護に関するリエゾン文書の検討

【入力文書】

1068R2 (WPs 3J, 3K, 3L & 3M)

【出力文書】

【審議概要】

- ・ WPTなどの干渉検討において必要となる9 kHz-10 MHzの周波数での建物への進入損失について参考となる資料を提供するリエゾン文書であり、ノートした。

## 4.2 WG 2(システムと標準)

### 【入力文書】

Railways (Res. 240(WRC-19))	RSTT: 976 Annex 12(WP 5A); 1056(WP 6A);37(USA); 69 (Germany); 70 (Motorola Solutions); M.2442: 1000 (Ukraine) RSTT_FRQ: 1065 Annex 4 (WP 5A); 50(Korea); 59 (Japan)
Broadband Wireless Access	M.2134: 35 (USA) M.1801: 43 (IEEE); 80 (Chairman, WP 5A) Infrastructure sharing: 1072 (SG 1) Broadband for rural and remote areas: 11 (ITU-D SG 1 Q5/1); 49 (WP 5D); 57 (Ericsson) WRC-23 Topic 9.1 c) (Res. 175): 19 (Chairmen, WP 5A and WP 5C); 24 § 3.14 (WMO); 58 (China); 72 (Germany et al.); 73 (UK) Question 101-5/5: 54 (ITU-T SG 2); 77 (Chairman, WP 5A)
Land mobile systems	Res. ITU-R 59 (ENG): 6(WP 6A); 67(Germany); 68 (Germany); Utilities: 1065 Annex 5(WP 5A); 1069(ITU-T SG 15); 1081 (WP 1A); 42 (Canada); 53 (UTC América Latina); 71 (Motorola Solutions)
Air to Ground	Update of Rep. ITU-R M.2282: 1065 Annex 6 (WP 5A) New Report: 1065 Annex 7 (WP 5A)
RLAN characteristics	M.1450: 844 Annex 17 (WP 5A); 44 (IEEE); 79 (Chairman, WP 5A)
ANT, HNT	1088 (ITU-T SG 15); 9 (ITU-T SG 15); 10 (ITU-T SG 15); 25 (ITU-T SG 9)

### 【出力文書】

Railways (Res. 240(WRC-19))	TEMP/21(FRQ),22(Q),23(M.2442)
Broadband Wireless Access	TEMP/12(LS),18(LS),20(WD),24(LS)
Land mobile systems	TEMP/25(WD),43(LS)
Air to Ground	なし
RLAN characteristics	TEMP/17(LS),19(WD)
ANT, HNT	なし

### 【出席者】

議長: Mr. Lang Baozhen(中国)、各国代表团

### 【審議概要】

以下の Sub Working Group (SWG)が設置されるとともに Offline Work が行われ、リエゾン文書及び勧告、レポート文書の作成等を行った。

## 2.1 Railways

- SWG 5A2-1 Railway 代理議長: Mr. Jiang Bo(中国)
  - 新研究課題草案ITU-R[RSTT]、周波数調和に関する新勧告草案ITU-R M.[RSTT\_FRQ]、ITU-R報告M.2442の改訂草案のいずれの作業文書も、時間の制約上、十分な検討が行われていないことをWG2議長レポートに記載し、キャリアフォワードすることとなった。
  - WP6Aへの返信リエゾン文書については、今回返信しないこととした。

## 2.2 Broadband Wireless Access

- M.2134(Offline Work) 議長: Mr. Michael Mullinax(米国)
  - 次回会合にキャリアフォワードされることになった。
- M.1801(Offline Work)
  - 後述するM.1450と一緒に審議されることとなった。
- Broadband for rural and remote areas(Offline Work)  
議長: Mr. Sendil Devar(エリクソン)
  - Temp 12(LS)について、エディトリアルな修正の上、プレナリに上程されることとなった。
- WRC-23 Topic 9.1 c) (Res. 175)
  - INP 19に基づくWRC-23 AGENDA ITEM 9.1, TOPIC 9.1 c)に関する説明をWP 5A議長が行い、アメリカ、中国、ドイツなどが支持を表明した。
- Question 101-5/5
  - ITU-T SG 2からのリエゾン文書については、ITU-Tからの提案を受け入れ、脚注からITU-T SG 12に注意喚起すべきという文を削除するWP 5A議長が提案した案で送付することが承認された。

## 2.3 Land mobile systems

- Utilities(Offline Work) 議長: Mr. Brett Kilbourne(UTC)
  - 新報告草案について、次回にキャリアフォワードされることとなった。

## 2.4 Air to Ground

- 前回のキャリアフォワード文書以外に入力文書がなかったため、全ての文書を次回会合にキャリアフォワードすることとなった。

## 2.5 RLAN characteristics

- M.1450 & M.1801(Offline Work) 議長: Ms. Dorothy Stanley(IEEE)
  - TEMP 17(LS)及びTEMP 18(LS)について、IEEEからの入力文書(INP 44)をそのままキャリアフォワードすべきという意見と、ディスカッションの結果を反映した上で、懸念事項をエディターズノートに記載してキャリアフォワードすべきという意見が対立し、議論がまとまらないまま、プレナリに上程されることとなった。

## 2.6 ANT, HNT

- ITU-T SG 15及びITU-T SG 9から提供された情報に留意することとし、現時点では特段の対応は行わないこととなった。

## 2.7 Terms and definitions

- SCVからのLSの内容の多くがIoTに関する問題であり、当該寄書へのリプライ文書はIoTに関する検討を行っているWG 5にて作成すべきと考え、WG2はこれを支援する立場を取ることにした。

### 4.2.1 RSTT に関する議論

#### 【入力文書】

RSTT:976 Annex 12(WP 5A); 1056(WP6A); 37(USA); 69(Germany);70(Motorola Solutions);

Report ITU-R M.2442: 1000(Ukraine);

Recommendation M.[RSTT\_FRQ]: 1065 Annex 4(WP 5A); 50(Korea); 59(Japan).

#### 【出力文書】

5A/TEMP/21(FRQ),22(Question), 23(M.2442)

#### 【審議概要】

SWG5A2-1 Railway が設置され、Mr. Jiang Bo (中国)が代理議長を務めた。メール審議と1回のSWG 会合が開催された。

- 70 (Motorola Solutions)
  - 米国からは新しいスタディーサイクルでは今までアプローチを継続するのではなく、新たな研究課題に基づき検討すべきであるとコメントがあり、独・韓国が賛成した。仏、中国から、59 (Japan)の提案のように新勧告草案の調和周波数検討を進め、PDNRにエレベートしていく考えも理解はするが、まずは研究課題の検討を先にすべきとのコメントがあった。日本からは研究課題を最初に完成させるのは理解し受諾出来るものの、その後は勧告を完成させるべきと主張した。
- WP6A への返信リエゾン文書
  - 米国からは External Organizations に対して ITU-R M.2442-0 の修正に関するコメントを求めるべきではないと意見があり、モトローラ・独・スウェーデン・仏も賛成した。(コメントを求める段階にない、主管庁ならまだしも External Organizations から技術的な修正コメントが返ってきた場合の対応を検討していない等の理由)
  - 議長からは現時点では External Organizations に Liaison を返信しないとコメントがあった。
- 改訂報告草案 ITU-R M.2442 に向けた作業文書
  - 次回会合にキャリアフォワードすることとなった。
- 新研究課題草案ITU-R[RSTT]に向けた作業文書
  - 次回会合にキャリアフォワードすることになった。
- 新勧告草案ITU-R M.[RSTT\_FRQ] に向けた作業文書
  - 次回会合にキャリアフォワードすることとなった。

### 4.3 WG 3(PPDR)

#### 【入力文書】

Revision of Report ITU-R M.2377	M.2377: 891 (WP 5D)
	2 (ITU-D SG 2 Question 5/2) 17 (ITU-D SG 2 Question 5/2) 20 (ITU-T SG 11) 46 (Chairmen, WP 5A & WG 5A-3) 48 (WP 5D) 78 (Chairman, WP 5A)

#### 【出力文書】

[DRAFT] LIAISON RESPONSE TO ITU-T STUDY GROUP 11 (Copy to ITU-D SG 2 Q5/2, ITU-R Working Parties 1B, 5B and 5D, and the RAG)	5A/TEMP/1
liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 5/2 to ITU-R working PARTY 5A on collaboration	5A/TEMP/2
Report of Working Group 3	5A/TEMP/39

#### 【出席者】

Amy Sanders (米・議長)、酒井原、米、加、豪、韓、中、モトローラ等最大 76

#### 【審議概要】

- WG 3は、PPDR(Public Protection and Disaster Relief)について審議するWGであり、今会合中に1回開催され、CF文書1件を含む7件の入力文書を審議した。
- 主な議論アイテムは、M.2377の改訂の検討と、外部からの入力文書への対応である。
- M.2377については、今回も入力文書がなく、審議せずに次回会合にキャリアフォワードされた。
- ITU-D SG 2からの二件のリエゾン文書5A2、5A/17(5A/17については、5A2と同様の情報を5Dに送付しているが、その共有)、リエゾンバック(TEMP02)を作成した。リエゾンバック案は既にWP 5A議長とWG 3議長の連名で5A/46として入力されており、該当文書をレビューするかたちで進められ、WG 3で承認の上、5Aのプレナリにて微小修正の上、承認された。5A/48についても、5Dから共有された、該当情報の共有のリエゾンで、5A/17と5A/48については共有されたのみで、特段のアクションはなしとした。
- ITU-T SG 11からのリエゾン文書に対して、リエゾンバックを作成した。返信案は5A議長から5A/78として入力されており、該当文書をレビューする形で進められ、WG 3で承認の上、5Aのプレナリにて、承認された。

#### 4.3.1 ITU-D Study Group 2 からの Question 5/2 関連活動報告リエゾンへの対応

##### 【入力文書】

2 (ITU-D SG 2 Question 5/2)

17 (ITU-D SG 2 Question 5/2)

48 (WP 5D)

78 (Chairman, WP 5A)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/2 liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 5/2 to ITU-R working PARTY 5A on collaboration

##### 【審議概要】

5A/2 (ITU-D SG 2 Question 5/2): 議長から内容の説明があり、「Utilizing telecommunications/ICTs for disaster risk reduction and management」は重要な活動であり、WG 3 として LS を作成する方向が説明され、承認された。

- ・ 5A/17 (ITU-D SG 2 Question 5/2): 議長から内容の説明があり、基本的に 5A/2 と同様の内容を 5D に対して対応リクエストし、5A には情報として提供している物であり、WG 3 としては単純に情報として確認するが、5A2 と同様の位置づけで 5A2 の LS バックに対応を包含する方向が提示され、承認された。
- ・ 48 (WP 5D): WG 3 議長から内容の紹介があり、5D のアクションで、5A には情報共有であるので、情報として認知し、特段のアクションは取らない方向性が WG 3 から提案されて、承認された。
- ・ 78 (Chairman, WP 5A): 議長から 5A/2 への LS バック案であるとの説明があった。

内容については大きな問題はなく、第3パラグラフ末尾の記載内容のエディトリアルな修正を行い、コンタクト先をモトローラとして、TEMP 文書として承認され、5A プレナリに送付され、特段の異論なく承認された。

#### 4.3.2 ITU-T SG 11 からの活動報告リエゾンへの対応

##### 【入力文書】

20 (ITU-T SG 11)

46 (Chairmen, WP 5A & WG 5A-3)

##### 【出力文書】

5A/TEMP/1

([DRAFT] LIAISON RESPONSE TO ITU-T STUDY GROUP 11

(Copy to ITU-D SG 2 Q5/2, ITU-R Working Parties 1B, 5B and 5D, and the RAG))

##### 【審議概要】

- 5A20 (ITU-T SG 11): 議長から  
「Draft New Recommendation ITU-T Q.ETN-DS Signalling architecture of the fast deployment emergency telecommunication network to be used in a natural disaster」は、Wide Area NW/WiFi/WiGig/IoT等非常に多くの範囲の無線に関連す

る興味深い内容を含んでおり、LSを作成する旨が示され、承認された。モトローラ（5D PPDR担当）より、本書にはIMT技術を含んでいないが重要な情報なので、5Dにも情報共有をして欲しい旨、要望があった。LSバックを5Dにも送付する旨、議長から確認された。

- 46 (Chairmen, WP 5A & WG 5A-3): 5A 議長と WG 3 議長によって作られた、5A/20 へのリエゾンバックである旨説明があり、内容の審議が行われた。5A 議長からは、5B、1B とともに連携する内容である旨がコメントされた。5.9GHz の帯域を使用した WiFi を含む ITS システム(11p)を中心に議論されている。モトローラから、内容を理解しやすいように参照すべき勧告の Section などの記載、M.2015 のような他のシステムの情報も期待されるが、本書は、新たな活動の開始の為の文書であり、詳細の記載の要否はこれからのオフラインも含めて議論とすべきとの返答があった。参照すべき情報の参考例として、M.2048 の内容を確認して欲しい旨の追加、WiFi という単語は ITU-R としては適切でないので RLANs とする他、エディトリアルな修正及び送付先の 5D 追加などが行われ、コンタクト先はモトローラとして、TEMP 文書として承認され、5A プレナリに送付された。
- 5A プレナリにてイスラエルから、重要な情報なのでインターセクターコーディネーターにも送付して欲しい旨の要請があったが、5A 議長から RAG 経由で多方面に共有発信される旨のコメントがあり特段の対応はなしとした。また、イランから、文書末尾の「Proposal」が不適當であるという意見があり、「"is of the view"」との表現に変更され、5A 議長、WG 3 議長が確認し、変更内容を含んだ形で承認された。

\* 5A/81 (Disaster Relief Liaison Rapporteur Report) は、今回 WG 3 では取り扱われなかった。また、有効な情報を含む各地域の Rapporteur Report も第二地域からしか提供されず、PPDR と連携した内容はなかった。

#### 4.4 WG 4(干渉と共用)

##### 【入力文書】5A/…

Document copied to WP 5A for information	5A/1063 (WP 5B); 5A/1066 (WP 5C); 5A/1076 (WP 1A); 5A/1077 (WP 1A); 5A/1080 (WP 1A); 5A/1085 (WP 4C); 5A/1090 (WP 6A); 5A/1092 (ITU-T SG 5); 5A/3 (ITU-D SG 2); 5A/8 (WP 6A); 5A/13 (WP 5D); 5A/16 (WP 5D); 5A/28 (WP 4A); 5A/64 (ITU-T SG 5)
RR Appendix 7 and Rec. ITU-R SM.1448-0	5A/1073 (WP 1A)
WMO preliminary position on WRC-23 agenda	5A/24 (WMO)
Non-ionizing radiation	5A/1074 (ITU-T SG 5)
Sharing by zones	-
RLAN documents from WRC-19 agenda item 1.16	-
Protection of radio services	1078 (WP 1A)
Range 1-3 GHz	1086 (WP 4C)
Range 92-109.5 GHz	1065 Annex 8 (WP 5A); 1070 (WP 7D); 1071 (WP 7C); 36 (アメリカ); 63 (日本)
IMT	47 (フランス)
Antenna patterns	56 (ATDI)
WRC-23 Agenda Item 1.2	15 (WP 5D)
WRC-23 Agenda Item 1.3	74 (ESOA)
WRC-23 Agenda Item 1.4	14 (WP 5D)
WRC-23 Agenda Item 1.5	7 (WP 6A); 66 (ドイツ)
WRC-23 Agenda Item 1.12	22 (WP 7C)
WRC-23 Agenda Item 1.13	21 (WP 7B)
WRC-23 Agenda Item 1.14	23 (WP 7C)
WRC-23 Agenda Item 1.15	27(WP 4A); 65 (ドイツ)
WRC-23 Agenda Item 1.16	32 (WP 4A)
WRC-23 Agenda Item 1.17	31 (WP 4A)
WRC-23 Agenda Item 1.18	29 (WP 4C)
WRC-23 Agenda Item 1.19	30 (WP 4A)
Proposal for a [252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST] report	62 (日本)

##### 【出力文書】5A/…

Range 92-109.5 GHz	45(LS to WPs 7C and 7D),46(working document)
WRC-23 Agenda Item 1.3	6R1(LS to WP 4A&5B&5C&5D), 7(structure for CPM text ),14R1(LS to WP 3K&3M),15(workplan)
WRC-23 Agenda Item 1.12	5R1(LS to WP 7C)
WRC-23 Agenda Item 1.13	4(LS to WP 7B)

WRC-23 Agenda Item 1.14	13(LS to WP7C)
WRC-23 Agenda Item 1.15	16R1(LS to WP 4A)
Proposal for a [252-296 GHz.LMS.FS.COEXIST] report	48(draft workplan)

#### 【出席者】

議長 Michael Kraemer 氏 (ドイツ)

日本、米国、カナダ、英国、ロシア、中国、フランス、ドイツ、イラン、UAE 等 約 150 名

#### 【審議概要】

本 WG は今会合中に 5 回開催され、WP 5A がリードグループとなる WRC-23 Agenda Item 1.3 の貢献グループへの 2 件のリエゾンや作業計画と CPM テキストの初期ドラフトとなる作業文書をはじめ、11 件の出力文書を作成し SG 5 に提出した。(第 1 回会合: 7/20、第 2 回会合: 7/21、第 3 回会合: 7/23、第 4 回会合: 7/27、第 5 回会合: 7/29)

#### 次回の会合にキャリアフォワードすることとなった文書

- Protection of radio services: 1078 (WP 1A)
- Range 1-3 GHz: 1086 (WP 4C)
- IMT:47(フランス)
- WRC-23 Agenda Item 1.2: 15 (WP 5D)
- WRC-23 Agenda Item 1.4: 14 (WP 5D)
- WRC-23 Agenda Item 1.16: 32 (WP 4A)
- WRC-23 Agenda Item 1.17: 31 (WP 4A)
- WRC-23 Agenda Item 1.18: 29 (WP 4C)
- WRC-23 Agenda Item 1.19: 30 (WP 4A)

#### アクション不要とした文書

- Antenna patterns: 56 (ATDI)

#### 【審議経過】

- IMT:47(フランス)について

第1回会合においてリエゾンの送付に対して、ブラジル、カナダ、米国、UAE、日本、英国からの反対があった。RRNo.21.5の検討は、IMT無線局を対象としており、WP 5Dが主たる責任範囲であり議論も初期段階であることから、WP 5Dの今後の進捗を見守り、現時点のWP 5Aではアクションをしないこととした。なお、寄与文書はキャリアフォワードされることになった。

- Antenna patterns: 56 (ATDI)について

第2回会合において、イランより提案どおりF.1336に対して提案された編集について懸念が表明された。その後オフラインディスカッションを経て、第4回会合において、過去のF.1336の議論結果を変更せず採用することとし、問題が生じた場合は議論に取り上げることが出来るものとした。

- AI 1.3: 74 (ESOA)について

第2回会合において、論点や情報が非常に多いので本文書を11月にキャリアフォワードすべきとの意見や、可能な限りAI1.3に関するリエゾンや作業文書、ワークプランの作成を進めるべきとの意見が複数出た。これを受け、本会合期間中はオフラインでのメールディスカッションにて作業に要する時間や対応方法を検討することとし、他の寄与する各WGとのコミュニケーションを開始するためのリエゾン

を作成した。

- AI 1.4: 14 (WP 5D)について  
第2回会合において、直ちに議論する必要がないので、11月の会合にキャリアフォワードすることとし、その後も意見を受け付けたが反対意見がなかった。
- AI 1.5: 7 (WP 6A); 66 (ドイツ)について  
第2回会合において、7について、現時点ではすべての貢献グループに情報提供し続けること以外には特別な対応は不要であるものとした。また66について、合意形成途上の内容を他のグループに情報提供するのは時期尚早であるとの意見があり、リプライリエゾンを直ちに作成し送付するか11月の会合にキャリアフォワードするか、5Aと5Cの合同会議での文書59に関する取扱い方も確認したうえで、次のセッションにて議論することとした。  
第5回会合において、5A5C合同会議でリエゾンを出さないこと、11月の次の会合において合同会議ではなく5A5C個別で議論を深める方針となったことが共有された。それを踏まえ、本文書は削除するとともに議長報告にてこれまでの議論の要約を記述し、11月の会合で残りの文書59関連の進捗状況を踏まえて再度議論することとした。
- AI 1.12: 22 (WP 7C)  
第3回会合において、米国から、7Cからの協力要請に応えるべく検討を開始しているため、シェアポイントに関連文書を格納する旨提案。その後電子メールによるオフラインディスカッションで、検討を進めることとなった。  
第5回会合において、第二段落の一部を修正すべきとする意見や、情報収集や議論を継続しメッセージを吟味すべきとする意見、現時点ではWP 5Dへの返信のみに留めるべきとする意見があがった。これらを踏まえ、今回リエゾンは送らず、現時点の版を議長報告に添付し継続議論のうえ更新する予定である旨を付記することとした。
- AI 1.14: 23 (WP 7C)  
第3回会合において、イスラエルから、米国が本テーマに関する一般的な回答を用意していると承知しているところ、Carlosがリプライリエゾンのドラフティングを主導するべき旨発言。これに対し、Carlosから意見はなく、Carlos主導のオフラインディスカッションでリプライリエゾンを作成することとなった。
- AI 1.15: 27 (WP 4A); 65 (ドイツ)  
第3回会合において、WP 4Aからのリエゾン文書の27とそれに対するリプライリエゾンの65についてドイツから説明。米国から、リプライリエゾンの発出自体は問題ないものの、65における「存在しない」という断定的な表現ぶりには慎重とすべき、また他のWPでの「現時点では見つかっていない」との表現ぶりは参考となる旨の意見が出され、米国とドイツとの間で電子メールでのオフラインディスカッションを実施のうえ、リプライリエゾンを作成することとなった。
- AI 1.16: 32 (WP 4A) , AI 1.17: 31 (WP 4A) , AI 1.18: 29 (WP 4C), AI 1.19: 30 (WP 4A)  
第3回会合において、概要の紹介を行ったが、議長から、本会合においてリプライリエゾンの作成に値するような情報がないか各自で確認し、リプライリエゾンを

作成する場合は電子メールで意見をできるように指示があった。これに対して意見がなく、すべて次回会合(11月)へキャリアフォワードすることとなった。

- 追加の入力文書について  
(From WG 5A-5: Proposal for a [252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST] report: 62 Attachment 2)  
第5回会合において日本より提出され、議長報告にそのまま添付し、詳細は11月の次回の会合で議論することとした。

#### 4.5 WG 5(新技術)

##### 【入力文書】5A/...

ITS	<b>General:</b> 1089(ITU-T FG VM); 5 (ITU-T FG VM); 18(WP 5D) <b>CAV(Question ITU-R 261/5):</b> 33(米国); 40(カナダ); 52 (韓国) <b>Sharing:</b> 1001 (Telstra) <b>Handbook</b> 1065 Annex 3 Att.1 (WP 5A), Share Folder (WP 5A), 34 (米国); 51 (韓国); 60 (日本)
Above 275 GHz (Q.256/5, Res.731) M.2417	1065 Annex 13 (WP 5A);1067 (WPs 3J, 3K & 3M);1079 (WP 1A); 41 (Canada); 62 (Japan)

##### 【出力文書】5A/TEMP/...

ITS	CAV(Question ITU-R 261/5): 26, 27, 29R1, 40R1 Handbook: 33 Vocabulary: 44
Above 275 GHz (Q.256/5, Res.731) M.2417	34R1,35R1,36R1
MEETING REPORT OF WORKING GROUP 5A-5	49

##### 【出席者】

議長 吉野仁 氏(日本)、米国、カナダ、英国、ロシア、中国、韓国等  
 最大約 100 名

##### 【審議概要】

- ・ 本WGは今会合中に5回開催され、17件の寄与文書を審議し、10件の出力文書を作成した。
- ・ 以下のSub Working GroupとDrafting Group (DG)が設けられた。これらはいずれも議論への参加希望者間で電子メールにて実施され、電子会議の枠は設定されなかった。なお、第1回の会合にて設置の要否が検討された「DG for Sharing」は、寄与文書(1001)提案元のオーストラリアのTelstra社が今研究期間でのSharing検討を望まないと言明し、1001(Telstra)を情報としてノートすることとなったことを受け、議論は実施されなかった。
- 1. SWG for CAV: 小山敏 氏(日本)
  - General、CAV関連の入力文書について審議。
  - 1089(ITU-T FG VM)及び5 (ITU-T FG VM)については、第1回会合にて、本会合又は次回会合にてリプライリエゾンを作成・送付することとされた。
  - 18(WP 5D)については、第1回会合にて、WP 5Dと協力する必要があるため本会合にてリプライリエゾンを作成することとされた。

CAV関連では、第1回会合にて、33(米国)、40(カナダ)、52(韓国)をもとにCAVに関する報告を作成することが合意され、ワークプランとCAVに関連する外部組織とWP 5Dを含む関連WPへのリエゾンについても併せて検討されることとされた。

電子メールでのオフラインディスカッションを経て、第5回会合にて以下のTEMP文書が承認された。

Doc.5A/TEMP/26 (Working document towards a PDN Report ITU-R M.[CAV])

Doc. 5A/TEMP/27 (Workplan for a PDNR ITU-R M.[CAV])

Doc. 5A/TEMP/29R1 (Liaison statement to EO on CAV)

Doc. 5A/TEMP/40R1 (Liaison statement to WP 5D)

- 2. DG for Handbook: Mr. Hyun Seo Oh (KOR)

第1回会合にて、34(米国)、51(韓国)、60(日本)について審議することとされた。

電子メールでのオフラインディスカッションを経て、第5回会合にて以下のTEMP文書が承認された。

Doc.5A/TEMP/33 (Workplan for LMH Vol.4 ITS)

なお、第5回会合にて「a PDN Revision to LMH Vol.4」に関し、日本から今回の会合ではTEMP文書は作成しないが、11月会合にむけてSharePointに関連資料を格納しておくので参照してほしい旨のコメントがあった。

- 3. DG for reply liaison statement(s) to ITU-T FG VM and WP 5D: 吉野仁氏 (日本)

電子メールでのオフラインディスカッションで作業が進められていたが、即座の回答が難しいことや急な回答を要する性質のものではないことから、11月の次回会合にてリプライリエゾンを作成することとした旨、第5回会合にて議長から説明があった。

- 4. DG for Vocabulary: 吉野仁氏 (日本)

第1回会合にて、1091を検討し、リプライリエゾンを作成することとされた。

電子メールでのオフラインディスカッションを経て、第5回会合で以下のTEMP文書が承認された。

Doc.5A/TEMP/44(Liaison statement to ITU-T SG 20)

- 5. DG for Above 275 GHz (Q.256/5, Res. 731) : 吉野仁氏 (日本)

Above 275 GHzに関わる審議を実施。

第2回会合にて、1067 (WPs 3J, 3K & 3M)については、41(カナダ)、62(日本)をもとにリプライリエゾンを作成することとされた。

1079 (WP 1A)は第2回会合にてノートすることが確認された。

1065 Annex 13 (WP 5A), 41, 62についてはWG 5の会合の場にて議論があったところ、概要を以下に記載する。

#### 第2回会合(7/22)での議論

・カナダは、M.2417 のアップデートを提案した一方、日本は sharing と mitigation techniques に関する新報告の作成を提案した。

・インテルは、カナダ寄書の Annex 8 を除外、若しくは修正することを要求し、日本は

M.2417 のアップデートは不要である旨を主張した。インテルの要求に対しては、日本が提案する(sharing と mitigation techniques に関する)新報告にカナダ寄書の Annex 8 を統合すること等が提案された。

- ・M.2417 のアップデート要否及び詳細の扱いは、e-mail DG にて審議することとなった。日本は、M.2417 のアップデートについて、現在の作業文書ではなく、オリジナル文書をベースに審議するのであれば譲歩できる旨コメントした。

### 第 3 回会合(7/24)での議論

- ・現在の Working Document(1065 Annex 13(M.2417 の改訂案))の Annex 6、7 を削除することとされた。
- ・カナダ提案(41)の M.2417 の改訂案について、メールベースで審議した結果が共有された。カナダは、Annex 8 (Annex 6、7 が削除されたため Annex 6 となる) の題名を変更することを提案した(修正タイトル案“Specific conditions to ensure the protection of Earth exploration-satellite service (passive) applications by the land-mobile service applications”)。併せて、エディタースノート(将来的に本 Annex が分割される可能性がある旨)の追記を提案した。
- ・日本、中国、米国は、本 Annex は specific condition に関連する可能性があるため、分割の上、WG 5A-4 において審議すべき旨コメントした。
- ・カナダは、本 Annex が WG 5A-4 で審議することは問題ないとした上で、現時点で本 Annex にコンテンツがないため、一旦分割の要否判断を保留することを提案した。
- ・日本の要請により、本 Annex が分割された時は WG 5A-4 で審議する旨へエディタースノートが修正された。
- ・最終的に、本 Annex の分割は保留となり、タイトルとエディタースノートのみ修正された M.2417 の改訂案が合意された。
- ・日本は、前会合で削除された M.2417 の改訂案の Section.8 の復活を提案。カナダ、米国、中国は、Section.8 の内容は WRC-19 で結論が出ており、復活に反対である旨主張した。日本は、提案を取り下げ、次会合で spectrum needs について、必要な提案を改めて実施する旨コメントした。
- ・ワークプランについては本会合では作成せず、次会合の入力に応じて対応する旨議長がコメントした。
- ・カナダ提案(41)の WP 7B、7C へのリエゾン作成は、WP4 からのリプライリエゾンを待って、次会合以降着手することとなった(本会合ではリエゾンを作成しない)。
- ・日本提案(62)の新報告 M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]のワークプランを作成し、WG 5A-4 に提案する。

上記の議論と電子メールでのオフラインディスカッションの結果、以下のTEMP 文書が承認された。

Doc.5A/TEMP/34Rev.1(Draft working document towards the revision of M.2417) (次回会合にキャリアフォワード)

Doc.5A/TEMP/35 Rev.1(Liaison statement to WPs 3J, 3K and 3M)

Doc.5A/TEMP/36Rev.2(Liaison statement to WP 7C)

**WP 5A テキストの修正**

- ・Section 1 of Annex 1 to Doc. 5A/1065, Doc. 5A/45
- ・ Guide to the use of ITU-R texts relating to the land mobile service
- ・ Guide to the use of ITU-R texts relating to the amateur and amateur-satellite services

の確認を行った。会場からコメントはなく既存の修正のまま承認された。

## 5 今後の予定

WP 5A の次回会合の各 WG の主な審議事項は以下のとおり。

### 5.1 WG 1(アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) WRC-23 議題 9.1 トピック b)の暫定新報告案 M.[AMATEUR CHARACTERISTICS] に向けた作業文書の作成作業を行うこと。
- (2) WRC-23 議題 9.1 トピック b)の暫定 CPM テキスト案に向けた作業文書の作成作業を行うこと。
- (3) WG 5A-1 の作業計画を更新すること。

### 5.2 WG 2(システムと標準)

- (1) 新研究課題草案 ITU-R [RSTT]や新勧告草案 ITU-R M.[RSTT\_FRQ]、改訂報告草案 ITU-R M.2442 について、それぞれの作業文書の作成を実施すること。
- (2) 勧告 ITU-R M.2134 の改訂に向けた検討を実施すること。
- (3) 新報告草案 ITU-R M.[UCS]の作成を実施すること。
- (4) 勧告 ITU-R M.1801 の改訂に向けた検討を実施すること。
- (5) 勧告 ITU-R M.1450 の改訂に向けた検討を実施すること。

### 5.3 WG 3(PPDR)

- (1) 引き続き決議 646(WRC-15、改)と連携した勧告・報告の改訂作業を行う。(WP 5D から入力があったが、その後の入力がなく、改訂停止中の ITU-R 報告 M.2377 への対応を含む)
- (2) PPDR に関する情報の収集と発信を継続する。

### 5.4 WG 4(干渉と共用)

- (1) 陸上移動業務における共有スキームに関する暫定新報告の作業を継続する。
- (2) WRC-19 議題 1.16 からの RLAN 文書の進め方を検討する。
- (3) CISPR からの EMC 制限を 6-40 GHz に拡大するという提案を検討する。
- (4) ITU-R 報告 M.[100GHz.RSTT.EESS.COEXIST]に関する作業文書の作成を継続する。
- (5) WRC-23 議題 1.3 の準備作業を継続する。
- (6) WP 5A が他の WP から要請を受けている WRC-23 の様々な議題にシステムパラメータを提供する方法を検討する。

### 5.5 WG 5(新技術)

- (1) CAV(Connected Automated Vehicles)に関する ITU-R 暫定新報告 M.[CAV]の作業文書の作成を継続すること。
- (2) Land Mobile Handbook Vol. 4 – ITS の改訂に向けた作業を継続し、改訂草案を作成し、WP 5A の承認を取得すること。
- (3) 275-450 GHz 帯における陸上移動業務の技術・運用特性に関する ITU-R 報告改訂案 M.2417-0 を引き続き作成すること。
- (4) ITU-T FG VM (Doc.5A/1089, 5A/5)へのリプライリエゾン文書を作成すること。

## 6 次回会合のスケジュール

次回(第24回)WP 5A 会合は、2020年11月9日～11月20日、eミーティングにて開催される予定。

表 2 日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG 1	5A/61	WRC-23 議題 9.1 トピック b)の検討のために次の作業文書の作成を提案する。 「RNSS(宇宙から地球)の保護を確実にするための1240-1300 MHz帯の両立性検討」	米国から、WP 5Aではアマチュア局の特性を検討し、干渉の検討は主としてWP 4Cで行われるとして、日本からこの文書をWP 4Cに入力してはとの示唆があった。日本から、WP 5Aで作成する新報告案でも利用できると主張した結果、Attachmentのタイトルを修正してWP 5A議長報告のANNEXとして添付することとした。	5A/TEMP/11
WG 2	5A/59	新 勧 告 草 案 ITU-R M.[RSTT_FRQ]の改訂及び新勧告案への格上げに向けた提案	今回合合では新勧告案への格上げはされず、次回合合へキャリアフォワードされた。	5A/TEMP/21
WG 4	5A/62 Attachment 2	ITU-R報告M.2417-0の暫定草案改訂に向けた作業文書	今回合合では議論がされず、次回合合へキャリアフォワードされた。	5A/TEMP/48
WG 4	5A/63	ITU-R 新 報 告 草 案 M.[100 GHz.RSTT.COEXIST]に向けた作業文書の改訂案。 WP 7C及びWP 7Dからのリエゾンに回答するために、アンテナ利得の最大偏差値、受信レベルの評価、見通し外では受信レベルが干渉の閾値以下になることを作業文書に反映させる。	WP 5A議長報告のANNEXとして添付することとなった。	5A/TEMP/46
WG 5	5A/60	LMH Vol.4 ITS (改訂版)作業文書への修正提案。 ドラフトのステータスを作業文書から暫定改訂案へ昇格させることを提案する。	今回合合では日本他からの入力が反映された暫定改訂案が作成された。(WP 5A Share folder-LMHに保存) 次回合合での作業完了と承認取得を目指すこととなった。	なし
WG 5	5A/62	①ITU-R報告M.2417-0の作業の中止及び②WP 3J、3K、3Mへの返答リエゾン文書案を提案する。さらに、③252-296 GHz帯LMS/FS応用間の共存に関する報告作成に向けた作業計画案も提案する。	①カナダの提案を受け、作業は継続することとされた。 ②返答リエゾン文書案がTEMP文書として承認された。 ③PDN報告の作成に向けた作業文書を作成することとされた。	5A/TEMP/34Rev.1  5A/TEMP/35 Rev.1

表 3 WP 5A 出力文書

文書番号 (5A/TEMP/)	担当 WG	題 目	処理
3	WG 1	LIAISON REPLY TO WORKING PARTY 4A (COPY TO WORKING PARTIES 4C, 7B AND 7C) Re: Intention to develop a Small Satellite Handbook	WP 5Aプレナリ にて承認
8 R1	WG 1	REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4C (COPY TO WORKING PARTY 3M) Information for studies on WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WP 5Aプレナリ にて承認
9 R1	WG 1	WORKING DOCUMENT TOWARDS PRELIMINARY DRAFT CPM TEXT FOR WRC-23 AGENDA ITEM 9.1 TOPIC B)	WP 5A議長報 告に添付
10 R1	WG 1	DRAFT WORKPLAN/REPORT FOR WRC-23 AGENDA ITEM 9.1, TOPIC B)	WP 5A議長報 告に添付
11	WG 1	ELEMENTS OF A WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[AMATEUR.CHARACTERISTICS]	WP 5A議長報 告に添付
37	WG 1	ELEMENTS OF WORKING PARTY 5A CHAIRMAN'S REPORT	WP 5A議長報 告に添付
17	WG2	Draft Liaison Statement to BWA & RLAN External Organizations - Request for Input for a Revision of Recommendation ITU-R M.1450-5 - Characteristics of broadband radio local area networks	継続審議
18	WG2	Draft Liaison Statement to BWA & RLAN External Organizations - Request for Input for a Revision of Recommendation ITU-R M.1801-2	継続審議
19	WG2	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-5 - Characteristics of broadband radio local area networks- Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 7.125 GHz	継続審議
20	WG2	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1801-2 - Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service operating below 7.125 GHz	継続審議
21R1	WG2	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[RSTT_FRQ] - Spectrum Harmonization for Railway Radiocommunication Systems between Train and Trackside (RSTT)	継続審議

22R1	WG2	Working document towards a preliminary draft new Study Question ITU-R [RSTT] – Studies related to the further development of RSTT	継続審議
23	WG2	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2442-0 – Current and future usage of railway radiocommunication systems between train and trackside	継続審議
24R1	WG2	Draft Liaison Statement to ITU-R Study Group 5 Editorial update of Question ITU-R 101-5/5 – Quality of service requirements in the land mobile service	SG 5に上程
25R1	WG2	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[UCS] [OR ITU-R HANDBOOK] – Utility Communication Systems	継続審議
43	WG2	Draft Liaison Statement to ITU-T Study Group 15 and ITU-R Working Party 1A (Copy for Information to Working Party 5D) – Utility communication systems	ITU-T SG 15、ITU-R WP 1A等に送付
1	WG 3	LIAISON RESPONSE TO ITU-T STUDY GROUP 11 (Copy to ITU-D SG 2 Q5/2, ITU-R Working Parties 1B, 5B and 5D,and the RAG)	WP 5Aプレナリにて承認
2	WG 3	liaison statement from ITU-D Study Group 2 Question 5/2 to ITU-R working PARTY 5A on collaboration	WP 5Aプレナリにて承認
39	WG 3	Report of Working Group 3	WP 5A議長報告に添付
4	WG 4	Draft liaison statement to Working Party 7B (Copied to Working Parties 3M, 5B, 5C, 7C and 7D for information) – Preparations for studies under WRC-23 agenda item 1.13	WP 5Aプレナリにて承認
5 R1	WG 4	Draft liaison statement to Working Party 7C (copied to Working Parties 5C and 6A for information) – Preparations for studies under WRC-23 agenda item 1.12	WP 5Aプレナリにて承認
6 R1	WG 4	Draft liaison statement to Working Parties 4A, 5B, 5C and 5D – Preparations for WRC-23 agenda item 1.3	WP 5Aプレナリにて承認
7	WG 4	Working document towards a preliminary draft CPM text for WRC-23 agenda item 1.3 – Chapter 1 – Fixed, Mobile and Broadcasting issues (Agenda items 1.1, 1.2, 1.3, 1.4, 1.5)	WP 5Aプレナリにて承認
13	WG 4	Draft reply liaison statement to Working Party 7C (Copied for information to Working Parties 4A, 4C, 5B and 5C) – Technical and operational characteristics in the frequency band 231.5-252 GHz	WP 5Aプレナリにて承認
14 R1	WG 4	Draft liaison statement to Working Parties 3K and 3M – Preparations for WRC-23 agenda item 1.3	WP 5Aプレナリにて承認

15	WG 4	Workplan/Report for WRC-23 agenda item 1.3	WP 5Aプレナリにて承認
16 R1	WG 4	Draft reply liaison statement to Working Party 4A (copy for information to Working Parties 5B and 3M) – WRC-23 agenda item 1.15	WP 5Aプレナリにて承認
38	WG 4	Liaison statement to Working Parties 5C and 6A (copy for information to Task Group 6/1)	WP 5Aプレナリでは議論されなかった
45	WG 4	Draft reply liaison statement to Working Parties 7C and 7D – Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[100-GHZ.RSTT.EESS.COEXIST]	WP 5Aプレナリにて承認
46	WG 4	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[100-GHZ.RSTT.EESS.COEXIST] – Coexistence between high-speed railway radiocommunication system between train and trackside operating in the frequency bands 92-94 GHz, 94.1-100 GHz and 102-109.5 GHz, and radio astronomy service and Earth exploration- satellite service (EESS) (active) and EESS (passive) services	WP 5Aプレナリにて承認
47	WG 4	Draft liaison statement to Working Party 5D – Preparations for WRC-23 agenda item 1.2	WP 5Aプレナリでは議論されなかった
26	WG 5	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[CAV] – Connected Automated Vehicles (CAV) – Question ITU-R 261/5	WP 5A議長報告に添付
27	WG 5	Work plan for the development of a new Report ITU-R M.[CAV] on the connected automated vehicles	WP 5A議長報告に添付
29 R1	WG 5	[DRAFT] liaison statement to External Organizations on its – Connected Automated Vehicles (CAV)	WP 5Aプレナリにて承認
33	WG 5	Workplan for the development of revision of land mobile Handbook Vol.4 Intelligent Transport Systems	WP 5A議長報告に添付
34 R1	WG 5	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2417-0 – Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275-450 GHz (Question ITU-R 256-1/5)	WP 5A議長報告に添付
35 R1	WG 5	Draft reply liaison statement to Working Parties 3J, 3K and 3M (copy to Working Party 1A for information) – Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2417-0	WP 5Aプレナリにて承認
36 R2	WG 5	Draft liaison statement to Working Party 7C (copy for information to Working Parties 1A, 3J, 3K, 3M, 5C and	WP 5Aプレナリにて承認

		7D) - "Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275-450 GHz"	
40 R1	WG 5	Draft reply liaison statement to Working Party 5D - Application of the Terrestrial Component of IMT for Cellular-V2X	WP 5Aプレナリにて承認
44 R1	WG 5	Draft liaison reply to ITU-T Study Group 20 and the Standardization Committee for Vocabulary (SCV) (copy for information to ITU-R Working Party 5D, ITU-T Study Group 2 and the CCV) - "ITU-T SG 20 terms and definitions"	WP 5Aプレナリにて承認